



個性を強みに 強みを社会の価値に  
私たちは障がいのある方の未来によきパートナーでありたい

就労移行支援事業所

# ここから未来

Kokokara Mirai



〒080-0012 帯広市西2条南7丁目5番地1 コスモビル2階

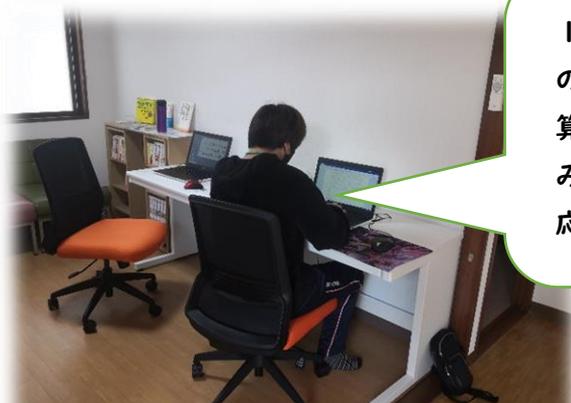
☎0155-67-0234 月～金 9:00～17:30

✉ kokomira@dg8.so-net.ne.jp

f Facebookページはこちらから→



## あなたの就職を全力サポート

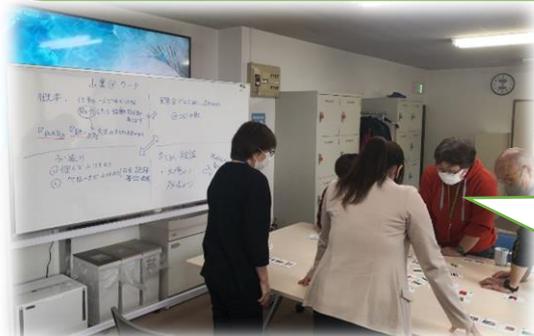
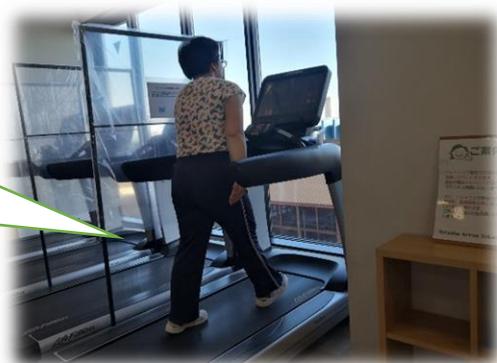


1日の日課を作る『個人ワーク』が午前の活動の基本です。PCでのオフィス操作練習や表計算など MOS の基本操作のプログラムの取り組みです。

応用としてのWEB構築や動画制作も可能です。

体育館などで基礎体力を維持することも大切な日課です。

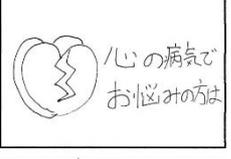
コロナウィルスに負けないために、免疫力や体力を十分に備えておく必要があります。



集団での活動に必要な協調活動や、交流型のワークが午後の活動の中心です。

お互いに協力して課題に取り組むことや、様々な体験を積むことで、人間性に厚みが出ることを目的としています。

落ち込みくん



↓演奏動画はこちらから↓



甘いお菓子と飲み物セット

# ここから未来の目指すところ



ここから未来代表 片平 修



今回は、事業所名「ここから未来」秘話をご紹介します。2020年1月、30年間お世話になった、帯広ケアセンターを退職する意向を固めたとき、同じくして日本にコロナ発症の1例目が、発表されたタイミングでした。退職後、ゆっくりオリンピック観戦し、暫くはのんびり過ごしたいと漠然と考えていましたが、志村けんさんが亡くなった翌月の4月、私の娘が飲食店勤めを、あきらめ失職状態になり、私のんびりプランは消滅しました。コロナ禍が、障害のある方の生活・雇用、社会的弱者への影響は必至という思いから、構想前倒しで準備を進め、7月会社設立にこぎつけました。

誰もが、未来を創れる拠点として存在出来たら、という思いから屋号は「ここから未来」としました。今回はここに、集まってくれた職員の紹介させていただきますね。

コロナ禍が、障害のある

発行日  
12月1日  
発行者  
片平 修  
制作者  
大場 康弘

↓最新情報はここから↓



お客様 K様の声

A型事業所で人間関係がうまくいかなかった。社会に出るのが早すぎた気がしたので、人生経験をじっくり積んでから再就職を目指したい。ここから未来ではパソコンのエクセルなどの基本操作のほか、デザインや動画作成など新しい分野に触れることができ、とても新鮮です。

## ボードゲームサークル



ボードゲームを活用したグループワークに取り組んでいます。トランプのように見えて、実は★協力ゲーム★脱出ゲームのようにみんなでコミュニケーションを取り合って、手札の数字を並べていきます。ゲームを通すと話下手の人でも率先してほかの人と話すことが無意識に出来、かつ協力してミッションをこなしたときは格別の喜びです。



楽しめる再度トークや質問コーナー笑いや雑談を含みながらも、みんな最後まで楽しく熱心に参加しました。

➕ 感染予防ワークでの取り組み  
市中感染の広がりを受け、コロナの消毒ワークを体験演習。今回は『消毒の基礎知識』 専属看護師による事前説明やクイズ、ハイターを希釈し、正しい割合の消毒液を作る実演まで、幅広く考えるワークでした。

リラックスが大切

外もだんだんと寒くなってきましたし、コロナウイルスで外に出づらいつ時期ですね。こんな時は一息つきませんか？リラックスは心と体の栄養源。ゆっくりするのもいいですね。